

本日の映画の舞台は、ちょうど2000～2002年にかけて滞在(UCバークレー客員)していた懐かしい所です。この地域は、自由な革新地域として有名で、1960年代のフリースピーチ運動や学生・社会運動、食・農・エコロジー運動など、時代の革新をリードしてきました。私の滞在時に、9.11同時多発テロが起きて米国全体が戦時・愛国で一色になった時、当地の市議会がブッシュ政権に反対決議をあげ、周辺地域からは村八分を受けました。当時の生々しい様子を、ベイエリア便りで公開しているので、ぜひお読みください。

<http://www2.kokugakuin.ac.jp/furu1/usa/am8.htm>

当時から10数年経ちましたが、革新的スピリットが次世代に向けてさらに輝いている様子が、この映画から力強く伝わってきます。

食育菜園

エディブル・スクールヤード

マーティン・ルーサー・キングJr.中学校の挑戦

センター・フォー・エコリテラシー
ベブル・スタジオ

The Edible Schoolyard
Center for Ecology



米国カリフォルニア州:種から食卓へ、そしてふたたび種へとつなぐ生命(いのち)の循環を教える菜園学習 が注目される。

食べられるガーデンによって豊かに変わった教師と生徒との関係、学校と地域との関係、プロジェクトに関わった教師たちがそれぞれの体験を語る。

食育菜園プロジェクトは、カリフォルニア州だけでも幼稚園から大学まで3,000校以上もの学校のスクール・ガーデンで行われ、大きな効果をあげている。

